

くまモングッズプレゼント♪

この記事の中に★マークが19個あります。この中で3箇所へ行き、その場所だと分かる写真を撮って道の駅「阿蘇」の中の案内窓口へお越しください。

*なくなり次第終了

そもそもASO田園空間博物館って何!?という方がほとんどでしょう。ASO田園空間博物館とは道の駅阿蘇の管理・運営を行っているNPOの団体です。その他にも、まだまだ隠れた阿蘇の魅力をたくさんの方に知っていただく活動を行っています。このフリー情報誌もその一つ。これで阿蘇の情報をGETして、ぜひ阿蘇へ遊びに来てくださいね!





阿蘇んもんのイチオシ!!

山田地区 村上さんのイチオシ!

「山田初のピザ屋さん」

阿蘇市山田の小池(こうじ)地区の村上さんは現在山田地域公民館の館長をされています。村上さんが生まれ育ったこの小池地区には伝説を持つ池が存在しています。それが地区名にもなっている「小池七池(こうしなないけ)伝説」です。その昔、清夜姫という姫が大分県竹田から菊池へお嫁に行く道すがら小池の池に飛び込み、蛇身と化し、それを見た腰元6人も其々池へ飛び込み大蛇になったそうです。現在もこの時の池が4つ残っていて、村上さんや地元の方達で整備されています。

そんな村上さんのイチオシ聞いてみました!
「信号もない、食堂もない、そんな山田にピザのお店があるんですよ!」と村上さん。紹介していただいたのは「ピザハウスりんりん」です。ここはピザがおいしいのはもちろんのこと、コーヒーにこだわっています。なんと、敷地内から湧き出ている天然の水を使っているから風味豊かでおいしいんです!このピザハウスりんりんは小池にお店をオープンして15年。地区住民は初め、「こんな何もないところにこんな店始めてもだーれもこんばい!」と言っていたそうです。村上さんは「何もないここを選んでお店を出してくれるんだから、何が何でも発展してほしい!」と思ったそうです。その願いが通じたのか、今ではこのおいしいコーヒー、ピザ、そして大自然を楽しむために関東、関西からお客様がいらっしゃるそうです。

りんりんの前には小池七池伝説の一つ、「泡池」があり、りんりんに来たお客さんがたまに見に行くそうです。村上さんは「ピザハウスりんりんと小池七池が一緒に人気になっていくといいな」と語っていました。



ピザハウス りんりん

住 / 阿蘇市小池 377-1
Tel / 0967-32-3669
休 / 火曜日 (不定休あり)

とり宮 杉本さんのイチオシ!

「阿蘇門前町商店街」

阿蘇神社の参道から続く阿蘇一の宮門前町商店街。その商店街の真ん中に店を構えるのは、今や馬鹿で全国的に有名になった「阿蘇とり宮」さん。先代は養鶏場からにわとりを買い付け、各家庭をまわり捌いて提供する行商スタイルから始まったそうです。現在は二代目の杉本真也さんが経営しており、肉の取扱だけでなく、馬刺しやハンバーグ、ギョウザ、調味料やドレッシングなど家庭のおかずになる商品もたくさんご用意されています。

自社だけでなく地域振興活動にも力をいれている杉本さん。まだ商店街が今のような賑わいを見せてない頃、店を継ぐために県外から阿蘇に戻って来た際、「10年後この商店街で商売が成り立っているのだから」とふと感じたと言います。商店街のメンバーにもなげかけ、「何とかしてくては!」という気持ちで他のメンバーにも伝わり、商店街各店の二代目を中心とした「わきゃもん会」を発足し、春と秋年二回の「旅する蚤の市in阿蘇」や、金曜夜市改め「門前祭」など、様々な取り組みを展開しています。現在では門前町の通りだけでもおよそ30件のお店が並んでおり、たくさんの観光客を迎えています。

「この商店街で働く人たちの活気と、商店街の至る所にある湧水、この阿蘇だからこそ醸し出された雰囲気をお客さんの皆さんにも味わってほしい。」と語る杉本さんのイチオシ「阿蘇門前町商店街」あなたも出かけてみませんか?



※イベント情報※【門前祭2014】
平成26年 7月26日 17:00~22:00頃
8月 2日 11:00~22:00頃

なごみ野 古木さんのイチオシ!

「阿蘇ブルーベリー狩り」

阿蘇市一の宮町坂梨にある郷土料理のお店「なごみ野」を運営されている古木さん。その古木さんの今年のイチオシは「ブルーベリー狩り」です。このブルーベリー畑を管理しているのも何と古木さんご自身です。

お店もブルーベリー畑も熊本市内で勤めていた仕事を定年する少し前から始めました。定年前は「あれもするぞ!これもするぞ!」と気合の入っていた古木さんですが、いざ始めてみると「いやあ〜定年する前より忙しくなったばい!」との事。ブルーベリー畑を始めた理由は珍しいし、簡単そうだったからだと言います。しかし、やってみると、これが意外と大変でした。お客様自身にブルーベリーを採ってもらうから地面の草刈り等、手を抜けないそうです。それでも、「ブルーベリー狩り」というスタイルを変えないのは「今は自然が少ないでしょう。子どもさんたちに売ってあるものではなくて、自分で採って食べるっていう事を体験してほしい!」という古木さん。「ちょっとだけどなすびも植えとるけん、それも持って帰ってもらうといいな。」という古木さんのお顔からは優しさがにじみ出ています。



※ブルーベリー狩り※
7月中旬〜8月下旬まで
料金: 200g 400円
入園料なし

なごみ野

住 / 阿蘇市一の宮町坂梨 569-7
Tel / 0967-22-6570
休 / 月曜日

※住所、電話番号は「なごみ野」と一緒です。
※自然の物ですので時期が変わることもあります。
一度お電話して行かれることをお勧めします。

坊中地区 霧林さんのイチオシ!

「坊中の歴史」

霧林さんのイチオシは、この道の駅阿蘇がある行政区「坊中(ぼうちゅう)」の昔です。この坊中で生まれ育った霧林さんは「この土地の事は誰よりも知っている自信があります!」という御年81歳です。

この坊中地区は天台宗比叡山延暦寺の末寺である阿蘇山西厳寺の宗徒坊が20人、行者坊が17人、その他のお坊さんが51庵も住んでいて、たくさんの修行僧が阿蘇を訪れていたと言われていました。その数はあまりにも多く、中には山伏の格好をしたスパイまでこの坊中を訪れていたというのですから、町にはお坊さんの格好をした人で溢れていたのでしょうね。そこから「坊中」という地区名が付けられました。

ではなぜ、この坊中にそれだけのお坊さんが集まっていたのか、それは阿蘇山が霊峰だからです。その阿蘇山の麓にあり、阿蘇山への登り口だったこの坊中にお坊さんが集まったと考えられます。霧林さんは「この阿蘇山に神が祭ってあるというより、この阿蘇山自体が神なんですよ。」と言います。



現在でも阿蘇山への玄関口として、たくさんの観光客を迎え入れている坊中。昭和36年までは坊中駅という名だった阿蘇駅。最近では道の駅阿蘇もでき、今までにない賑わいを見せています。「昔の形が変わっていくのはさみしい。でも坊中が寂れていくのは嫌だ。世の流れに沿って発展していってほしいですね。」という霧林さん。その目はおよそ80年共に生きてきた坊中の時代の変化を見つめ、坊中と寄り添いながら生きてきたんだと感じるお話を聞かせてくれました。

詳細はこちらまで
ASO田園空間博物館 TEL0967-35-5077

※坊中ガイド付散策※
1時間 1,000円

イベントしました!

ASO田園空間博物館では、阿蘇市の隠れた魅力あるスポットを、もっとたくさんの方に知っていただくため、地元の方たちと一緒に地域散策イベントを行っています。

● 外国人留学生対象の「阿蘇市をさるこう!」を開催しました! ●



これをきっかけに、火口やカルデラだけではない阿蘇の魅力をたくさん発見してもらい、それを外国人留学生自らが各国で発信してくれるよう、更に楽しいイベントを企画していく予定です。

ASO田園空間博物館が年に数回開催している「阿蘇市をさるこう!」を今回初めて【熊本市国際交流会館】と連携を図り、県内在住の留学生を対象として行いました。今回は13か国から約40名の県内在住の外国人留学生とその家族が参加してくれました。

午前中は車帰地区にある二重峠の石畳を車帰地区の皆さんに案内してもらい、午後からは大観峰で阿蘇についての説明を聞きました。

参加者のアンケートによると、「初めて行った場所ばかりでとても良かった。」という声や、「お昼に地区の方にいただいたお漬物がおいしかった」、また「案内人の方のお話はとても興味深かった。」等、好評をいただきました。

● 手野を満喫!ワラビ狩り体験 ●



毎年恒例!阿蘇市手野地区の散策、ワラビ狩り体験を行いました。

まずは午前中に手野地区の散策!有名な「手野の名水」や、歴史ある【国造神社】を地元案内人の「手野名水会」の皆さんが案内してくれました。この「手野名水会」の案内が最近人気を博していて、噂通り、とても分かりやすく、また参加者からのイレギュラーな質問にもパツと答えていらっしゃいました。

そして午後から待ちに待ったワラビ狩り!大草原の中で採るワラビは格別です。時期は少しずれてしまいましたが、参加者の皆さんは宝探しのように一生懸命探して、袋いっぱい持って帰っていましたよ!お天気にも恵まれ、とってもいい体験になりました。

火山コンシェルジュがご案内いたします!



〜5月から道の駅阿蘇内に「阿蘇火山コンシェルジュ」案内ブースが設置されました!〜

「阿蘇火山コンシェルジュ」って??

これは当館と阿蘇火山博物館が合同で企画したもので、阿蘇の火山やカルデラ、地形の成り立ち、阿蘇の野草、そして民話等、阿蘇について、もっと深い知識を提供できるよう、観光案内とは別に設置された窓口です。

これまでも、観光案内窓口で「カルデラに行きたいんですけど…」というお客様や、「阿蘇山って噴火するんですか?」等、阿蘇についてもっと知りたいという質問がいくつもありました。それにお答えするべく、4人のスタッフが知識を深め、皆さまに情報を提供できるよう、道の駅阿蘇内に常駐しております。どんな簡単な事でも結構ですので、火口に行く前の予備知識として、また阿蘇を回ってみて浮かってきた疑問を解決したい時等、どんどんご利用ください。



東谷和郎 (火山担当)

阿蘇には、カルデラや阿蘇五岳といった自然が織りなした幻想的な世界が広がっています。この大自然「阿蘇」を五感で楽しんでもらう、私たち「火山コンシェルジュ」がお手伝いをできればと思っています。阿蘇火山について少しでも疑問がある方、ヒューズボットが知りたい方、気軽なお立ち寄りください。皆さんのお越しお待ちしております。



藤本雅子 (草原担当)

「阿蘇」と言えば? 青々とした草原が視界いっぱいに広がる様子を想像した方が多いのではないのでしょうか?実は、この阿蘇の草原は人の手によって作られた人工的な物なのです。今、どんどん減りつつある草原がなぜ必要なのか、草原に隠された秘密等、もっと詳しく皆さまにお伝えしたいと考えています。もちろん草原以外の事も聞いてください!何でも答えられる...ようにもっと勉強します!!



酒井仁美 (民話担当)

火山コンシェルジュとしてこのプロジェクトに参加でき、とても光栄です。楽しく、分かりやすい案内をモットーに、一人でも多くの方に阿蘇の自然や文化の魅力を伝えたいと思います。とは言え、まだまだ私自身勉強しなければならないことがたくさん!知れば知るほど奥が深い阿蘇に少しプレッシャーも感じますが、協力して下さっている皆さんのために笑顔で頑張ります!ぜひブースに遊びに来て下さいね!



小野由貴恵 (野草担当)

野草について勉強していると、阿蘇の野の花がどれだけ貴重な存在か身に染みて実感しています。まだまだ知識は少ないですが、野草の大切さを皆さまに分かりやすく、その季節の花等の情報もお届けできればと思います!

★ 熊本県立阿蘇中央高校清峰校舎

私たち阿蘇中央高校清峰校舎は世界に誇る阿蘇カルデラの中心部に位置し、四方を囲まれた外輪山を一望できる、素晴らしい環境の中、農業と社会福祉を中心に勉強している学校です。

ASO田園空間博物館と共同企画を始めて3年が経ちますが、毎回、阿蘇の特色を活かした、阿蘇ならではの取組みを行ってきました。

▼ 草泊りワークショップ



まずは草泊まりワークショップ。草泊まりとは昔、阿蘇の人たちが草原で採草する際、草で作っていた簡易的な家の事です。阿蘇の人たちにとって、草原の草は牛の餌や肥料、家の屋根に使われる等、なくてはならない物でした。現在は機械で簡単に刈ることができそうですが、昔の人たちは全て手作業だったため、草原に10日程滞在して採草していたようです。

それを参加者が実際の草原で実際に体験することによって阿蘇の草原の大切さを学んでいたのだと考えています。このイベントは大変人気で、また今後も継続して開催したいと考えています。

また、道の駅阿蘇のお弁当コーナーには阿蘇中央高校生がプロデュースしたお弁当が販売されています。これは生徒たちが授業の一環として阿蘇特産のあか牛を使った料理を考案し、試食会を行い、その後地元のお弁当屋さん等が生徒のレシピを参考に商品化し、道の駅阿蘇で販売するというものです。このお弁当は大変好評いただいております。現在また新作を考案中です。



今後もASO田園空間博物館と協力し、阿蘇へ来ていただくお客様により阿蘇を知ってもらおうこと、そして、生徒たち自身が阿蘇を誇りに感じ、阿蘇で活躍する人材へ育てばいいと考えています。

もっと知りたい！阿蘇のい〜とこ！

ここでは地元住民の方にいただいた情報を掲載させていただきます。情報提供にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

1

中野天満宮と今町川 阿蘇市役犬原1682

阿蘇市役犬原の道尻地区には「今町川」という白川水形一級河川があります。そしてこの今町川に並んだ道を挟むように建てられているのが2つの「中野天満宮」です。ほぼ同じ場所に同じ名前の天満宮があるのも不思議ですね。これは、昔、水害に多く遭っていた集落が安全であるこの地区に移動してきた時に一緒に持ってきた物で、たまたま近くに移ってきたそうです。

通常天満宮とは菅原道真を祭神とする神社で、学問の神として知られていますが、昔は農耕の神として農民の信仰を集めていたそうです。

平安時代に、学問の名家に生まれた菅原道真は藤原氏の策謀によって不遇の死を遂げます。その後都で頻繁に落雷の被害等があり、菅原道真の祟りと噂されるようになりました。雷が鳴り稲光がすると、必ず雨が降るとい自然現象から雷神である天満宮は水神、農耕神と人々から信じられるようになりました。阿蘇には田畑が多いので、地域の方たちに昔から大切にされてきたのでしょうか。

その中野天満宮の裏にある今町川は高さ4メートル程度の滝があり、小さいながらも涼を感じることが出来ます。水量は少ないですが、夜はホタルも出る、きれいな川です。夕方にお散歩すると、阿蘇の気持ちいい風と歴史を感じながらどこか懐かしい気持ちになれる場所です。



2

久幸堂2号店が出来ました！

久幸堂と言えば【ゆず萌え】や【しいもしぐれ】等、今では阿蘇の顔となっているお菓子を数々生み出しているお菓子屋さんです。その久幸堂がこの度、内牧の中心街に2号店をオープンしました！元々1号店は地元のお客様の声にお応えして工場直売店として作ったため、場所も少し分りづらかったそうです。もっと観光客の方にも気軽に入っていただけるお店を作りたいという思いから今回の2号店をオープンすることになりました。

2号店店長は美人で気さくな社長の娘さん。店内の雰囲気もかわいらしく装飾してあります。

久幸堂名物のお菓子はもちろん、2号店限定でお団子の販売もあるそうです。【ゆず萌え】の姉妹品【いも萌え】も人気です。食べ歩きもいいですね！2号店では「お客様にパンパン試食していただいて、自分が1番好きなお菓子を見つけてほしい」と店長さん、太腹発言です！ぜひ足を運んでみてください。



久幸堂 広町店
住／阿蘇市内牧 289-1
TEL／0967-32-0442 (本店)
営／10:00～17:00
休／水曜日

阿蘇市の人気店

珈琲と紅茶 瑞季



おすすめメニュー

- コーヒー (12 種類) 550 円～
- 紅茶 (22 種類) 600 円～
- 本日の手作りスイーツ 350 円
- 阿蘇あか牛カレー (ミニサラダ付き) 750 円

店舗・施設 情報

住／阿蘇市一の宮町宮地 5977-733
(ロイヤルシティ阿蘇一の宮1階内)
TEL／0967-22-0505
休／木曜日

3

小次郎涮



おすすめメニュー

- 3500 円コース (地鶏釜飯、味噌汁、上肉) 2 人前
- 4000 円コース (地鶏釜飯、味噌汁、特上肉) 2 人前

店舗・施設 情報

住／阿蘇市黒川 1303-2
TEL／0967-34-0945
休／木曜 (不定休有)

4

つけもの処 健蔵



おすすめメニュー

- 阿蘇たかな漬各種
- 豆腐のもろみ漬
- ゆず大根

店舗・施設 情報

住／一の宮町宮地 3090 門前町通り
TEL／0967-34-0619 (本店)
休／なし

5

旅人の宿 ゲストハウス阿蘇楽 (Asora)



おすすめメニュー

- 素泊まり・ドミトリ (相部屋) 1 人 1 泊 2,500 円
- 素泊まり・個室 (2～3 名様利用) 1 人 1 泊 3,000 円

店舗・施設 情報

住／阿蘇市黒川 73-2
TEL／0967-34-1115
休／なし

6

産 庵



おすすめメニュー

- 鴨せいろ 1500 円
- 板そば 1400 円

店舗・施設 情報

住／一の宮町坂梨 1435-1
TEL／0967-22-0515
休／火曜 (祝日は営業)

7

MellowMouk Lounge and cafe



おすすめメニュー

- オリジナルカクテル 700 円～
- イタリア産生ハム、チーズ盛り合わせ など

店舗・施設 情報

住／一の宮町宮地 1873
TEL／0967-22-0102
休／日曜日

8

蕎麦処 阿蘇の風



おすすめメニュー

- 二八と十割そばの麺くらべもり 1,200 円
- 3つの味が楽しめる三色もりそば 850 円
- シンプルにもりそば (二八) 600 円

店舗・施設 情報

住／阿蘇市西町 788-2
TEL／0967-34-0050
休／月・火 (祝祭日営業)

9

(有) 阿蘇・岡本



おすすめメニュー

- 地サイダー (プレーン、しそ、チョコ) 各 210 円
- ASO・PIECE (アンピエス) ヨーグルトリキュール 500 円

店舗・施設 情報

住／阿蘇市内牧 217
TEL／0967-32-0035
休／なし

10

(有) 光フーズ



おすすめメニュー

- 馬刺し (100g) 630 円～800 円 (税込)

店舗・施設 情報

住／阿蘇市黒川 1538
TEL／0967-34-2188 FAX／0967-34-2190
休／月・火 (祝祭日営業)

11

Staff 紹介

「今回はこの4人！」



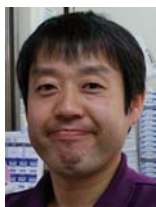
橋本 堅規

所長の橋本です。4月1日から道の駅阿蘇に勤務しております。道の駅阿蘇は、阿蘇の観光の起点、「阿蘇の玄関口」です。懇切丁寧な観光案内等により、充分に阿蘇を満喫していただくことを心掛けております。観光スポット、特産品、お食事処などお気軽におたずねください。阿蘇案内の達人たちが皆様方のお越しをお待ちしております。



二宮 淑枝

美しい景観と若くてやさしく、一生懸命のスタッフにかこまれ、毎日楽しく仕事をしています。追伸、約一名称い方います…。是非様子見に来てください。



小島 太志

観光案内担当の小島太志です。みなさん!道の駅「阿蘇」には、無料の観光案内をしてくれるスタッフがいるのを存知ですか? 阿蘇の観光スポットやグルメスポットなど何でもお聞きください! 無料の地図などを用意しております。お待ちしております。



寺西 ユカ

展示販売の寺西です。ドライブと言えば「阿蘇」ですね! 私のおすすめは3種類もあるソフトクリームです!全部食べたいという方は…日替わりでどうぞ! (笑) きっと好きな味が見つかるはず! 阿蘇へお越しの際は是非「道の駅阿蘇」へお立ち寄りください!

NPO法人ASO田園空間博物館 ー 道の駅「阿蘇」ー

発行

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川 1440-1 Tel0967-35-5077 Fax0967-35-5085

URL <http://www.aso-denku.jp/>

この時期おすすめの 観光スポット

阿蘇のとおきスポットは他にもたくさんあります！

私たちASO田園空間博物館はこういったおすすめスポットを地域の宝物として“サテライト”と呼び、地域の人たちと守り、後世へと繋いでいく活動をしています。
まだまだ知りたい！という方はASO田園空間博物館総合案内所（道の駅「阿蘇」）へどうぞ！



国造神社

阿蘇市一の宮町手野2-110

熊本県内で最も古い神社の1社。台風で折れてしまった元国指定天然記念物の巨大な杉の幹・根が大切に保管されています。7月28、29日には豊作を祈る「御田（おんだ）祭り」が行われ、神輿とともに宇奈利（うなり）と呼ばれる白装束の女性や宮司ら一行が青田を練り歩く姿は圧巻です。近くには「手野の名水」というおいしい湧水もあります。

12



年の神水源

阿蘇市黒川

地元住民から親しまれ、大切に整備されている水源です。のどかな外輪山の景色を楽しみながら、日陰や水辺に用意されたベンチで涼むことができます。残念ながら、この水を飲むことはできませんが、周辺地域の水田に欠かせない大切な水源となっています。道の駅阿蘇から徒歩15分ほど、散策コースとしても人気となっています。

15



霜神社

阿蘇市役犬原1005

健甕龍命の来家・鬼八が理不尽に命に斬られたことから、阿蘇に霜を降らせるようになったという伝説があります。そこで鬼八の祟りを恐れた地元民は霜神社を建て、少女を59日間籠らせ、火を絶やさぬよう番をさせたそうです。現在でも毎年8月19日にご神体を火焚き小屋まで輿で運ぶ「乙女入り」が行われ、59日間、地元民が交代で火の番をしています。

13



波野そば公園

阿蘇市波野

波野高原に植えられた蕎麦はその数約700万本。9月上旬～中旬頃にはそばの花が満開になり、まるで白い絨毯を敷き詰めたように綺麗な景色が広がります。花が咲くその先に阿蘇五岳を眺めることもできます。花を満喫した後は、新そばを使った「波野高原新そば祭り」が11月に開催され、採れたてのそばの味を楽しめます。

16



踊山神社

阿蘇市蔵原918

昔は森の中に大きな水源があり、周辺の水田を全て養っていました。湧水が少なくなった時には地元の15歳以下の子どもたちが笹を持って踊ると水が湧き出たので「踊山神社」と名付けられました。今では水源も枯れてしまいましたが、木陰の中を散歩していると水の流れる音が聞こえてくるようで涼しい気持ちになります。毎年9月30日にはお祭りも開催されます。お振る舞いもありますので行ってみたいいかがでしょうか。

14



産神社

阿蘇市狩尾1738

女性に似た原石をご神体を持つ神社です。社殿横にある小さな池から、数十年に一度乳白色の水が湧くことから、お乳や安産の神さまとして多くの人が参拝に訪れています。7月に乳白色の水が湧くことが多く、最近では平成22年7月18日に確認されました。白い湧水を見ることが出来たらご利益があるかもしれませんね。

17

もっと知りたい！
おすすめ

サテライト



乙姫子安河原観音

阿蘇市乙姫

18



最近、密かに人気を集めているのが阿蘇市乙姫の阿蘇乙姫子安河原観音です。子安河原観音堂の裏にある河原には、女性が仰向けに寝そべっているような形をした岩があり、それを観音様に見立て、周りの石を拾ってお堂に奉納し子宝祈願をします。これから子どもを授かりたいという若い夫婦や、おじいちゃんおばあちゃん等、1年でおおよそ4万人もの人が全国から参拝にいらっしゃいます。



男の子を授かりたい人は黒い石を、女の子を授かりたい人は赤い石を河原で拾い、持ち帰って女性が股に挟むと子どもを授かることができると言われています。石は、願いが叶ったらまたお礼参りの時にお持ちください。

観音堂の中にはお参りに来た方が自由に記入できるノートが置いてあり、今まで参拝した方が其々思いを綴られていて、昨年だけでもおよそ6600人が記入されました。書いてある事は「無事にかわいい娘を授かることができました」等、お礼の言葉がほとんどだそうです。

これからお子さんを授かりたいとお考えの方は是非行ってみたいいかがでしょうか？

西町の神々と千年ご神木

阿蘇市西町

19



西町八幡宮

建暦2年(1212年)に大願主蔵原右京吉治が社殿を創建し鶴岡八幡宮から祭神を勧請し竹原八幡宮と称したとされています。社殿は万治元年(1658年)再建され、その後昭和27年(1952年)宗教法人法施行の際、西町八幡宮に改称されました。

西町わくど石

雨乞い、水もらいの神様で、以前は泉川の川床にあったにもかかわらず、重量15トンもある巨体はいかなる大洪水にも微動だにせず座していたと言われています。現在は東岳川橋から西へ約17mの右岸袂に勧請されています。

護王さんの杉

推定樹齢1000年、幹囲6.8m、樹高23m、根周り8m、枝張り東西20m、南北22mで昭和52年1月20日阿蘇市の天然記念物に指定され、樹下に阿蘇中岳の火山活動の平穏を祈願する火伏せ地蔵と護王権現を祀っています。



西町薬師堂

西町薬師堂は衆生の病氣平穏を本願とされる薬師如来をご本尊とし、親類縁者の病の治療を祈願して「おんころころまとうぎぞわか」の経文を唱え、夜を明かす「お籠り」が行われるなど古くから区民の信仰を集めてきました。また、本薬師堂では毎年3月に行われる阿蘇神社の火振り神事当日、国龍神のお妃を阿蘇神社まで案内する一行の立ち寄り処として神事、直会が執り行われ、「左弓の儀」に用いる弓矢を作成し奉納する「御前迎え」の儀が毎年行われています。

県から表彰
されました！

元気ならぎの 阿蘇でがんばるもん！

熊本県が実施している「くまもと里モンプロジェクト」。これは県内で実施されている地域活動の中から、他の模範となるような取り組みを実施している優良な団体等を表彰する取り組みです。この「くまもと里モンプロジェクト」で阿蘇市波野の榎木野地区の住民「元気ならぎの」の皆さんが優良団体に選ばれ、表彰されました。

元々、榎木野地区は、過疎化の波が押し寄せ、人口もどんどん減り、阿蘇にありながら阿蘇山も見えず、観光資源に恵まれない地域でした。そんな中、「このままではいけない！」と地区住民数名が立ち上がり、無くなってしまった地区伝統の盆踊りの復

活や、私たちASO田園空間博物館と協力して地域散策イベントを開催しているうちに、地区住民皆が主体となった活動へと広がり、それが高く評価され、今回の表彰となりました。ASO田園空間博物館との地域散策イベントでは、「こんな何もないところまで来て下さる皆さんの為にできる事はおもてなししかない！」と皆で一致団結し、里芋の収穫体験や、伝統の味噌作り体験等を行ってきました。それが功を奏し、今では大人気イベントとなっています。

区長の森さんは「今後も女性とお年寄りが主役になれる場所を作り、代は替わってもこれまでやってきた事をずっと続けて



散策イベントおもてなしの様子

いきたい」と語ってくれました。「皆で集まると智恵もその分集まる。」と言う「元気ならぎの」の皆さんの団結力は人気のイベントを見ればすぐに分かります。

阿蘇にありながら阿蘇山の見えない榎木野地区のおもてなしを、あなたも体験しに来ませんか？



元気ならぎのの皆さん